

当院では、救急外来の患者さますべての方にトリアージを行っています。

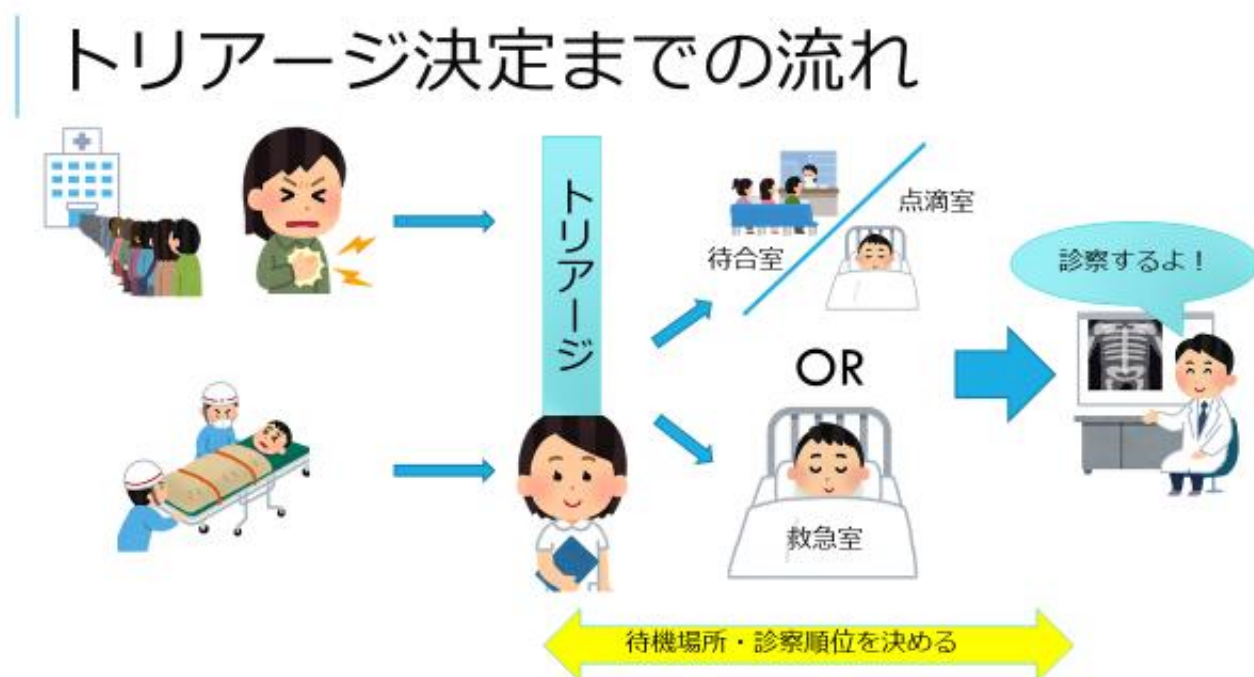
救急外来では、患者さまの状態を医師・看護師が評価し、緊急度・重症度の高い患者さまを優先して診療を行っています。そのため、診療の順番が前後することや診察までの待ち時間が長くなることがあります。

・JTAS について概要

そもそもトリアージとは、【医療現場や災害時において、患者の状態を迅速に評価し、治療の優先順位を決定すること】を指します。当院では、緊急度判定支援システム（JTAS 法）を採用しており、患者さまが診療まで安全に待てる時間を決めるために行います。

緊急度判定支援システム（厚生労働省資料より抜粋）	
1 蘇生	心停止、痙攣継続、重症外傷、高度意識障害、重篤な呼吸障害等
2 緊急	心原性胸痛、重篤な体温上昇、激しい頭痛・腹痛、中等度の意識障害、抑うつ、自殺行為等
3 準緊急	症状のない高血圧、痙攣後（意識回復したもの）、変形のある四肢外傷、中等度の頭痛・腹痛、活動期分娩等
4 低緊急	尿路感染症、縫合に要する創傷（止血あり）、不穏状態等
5 非緊急	軽度のアレルギー反応、縫合を要さない外傷、処方・検査希望等

・トリアージ決定までのながれ



【救急車】・【自力受診（徒歩、公共交通機関、自家用車など）】と来院手段に関わらず、救急外来を受診される患者さますべての方がトリアージの対象となります。